

学校名	坂城中学校	
ホームページURL http://www.valley.ne.jp/~sakacyu/	生徒数 548名	
(1) テーマ 「誰かの笑顔のために、今、 私たちにできること」  テーマの分類( -エ ) 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください  学級 <u>同一学年</u> 3～4年 5～6年・学校・ その他( ) 該当学年 1年 (回答可能な場合)	
(3) 活動のねらい ・相手に心を寄せながら、自分の考えや見通しに沿って課題を解決していく力を高める。 ・自分の考えや意見を積極的に表現しようとする意欲と表現力を高める。 ・自分自身の生き方や考え方、価値観を問いつづけようとする意識を高める。		
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) ・老人福祉施設との継続的な交流活動 ・交流計画の立案、実践、振り返りを継続した。 ・学年としてのテーマを受け、学級毎に生徒の意識から活動を決め出し展開した。  時数( 22 )		
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) ・学年正副学級担任による指導 ・坂城町の社会福祉協議会職員の方を外部講師として招聘し指導を頂いた。		
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) ・スライド外の時間で必要な時期に時間を確保できるようにし、月曆に固定で入れている。 ・各教科との連携については研究途上である。 ・地域の施設との交流の中で外部講師の協力を頂いている。 ・学級通信、学年通信、学校通信を活用し、活動を紹介している。		
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) ・ワークシートによる生徒の自己評価を重視している。 ・通知票の内容については、生徒の記入したワークシートの自己評価やふりかえりをもとに、教師がそれぞれの活動場面における生徒の姿を加えて記述している。		
(8) 成果と課題 ・体験を通して生徒が感じたことをもとに活動を決めだすことが、主体的な学習の展開につながるようになった。自分たちを歓迎し、喜んでくれるお年よりの姿は、生徒に自己肯定感や達成感を与えてくれる。また、相手に心を寄せた活動が、生徒の表現力を高められる。 ・自己評価の集積と見返りは、自分自身の生き方をふり返り、自分自身の高まりを感じ取ることに繋がっていった。 ・今後は、より多くの教科学習や選択教科学習との関連を図れるような展開を考えていきたい。		

テーマの分類 横断的・総合的な課題( -ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境  
-エ 福祉・健康 -オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学校の特色に応じた課題